

2.8 職員

世界の 100 を超える国々から、およそ 2,500 名を超える職員が在籍^{〔35〕}

職員の内訳は次のとおり^{〔36〕}

専門職 (Professional Staff)

・いわゆる国際採用の職員

- ・各々の専門分野について職務を遂行する。それぞれが専門家として貢献するほか、特別任務(例えば基準の作成)を取り扱う専門家からの成果物のとりまとめ
- ・IAEA の任務の性格上、特殊な技能が必要
 - 事務局組織のスタッフとして、各部門業務に関係する技術的経験(国際的な基準・標準の策定、国際的なプロジェクトの調整、発展途上国への技術支援、保障措置等、原子力・放射線利用における専門知識)が求められている
 - 巨大な国際機関であるため、人事、経理、総務、購買、法務等の事務職もあり、技術者や科学者でなくても大いにチャレンジできる環境
- ・IAEA で培った専門技能を母国で役立てる、あるいは IAEA に新しい知見をもたらすことを期待して、定期的に人員を交代するローテーションポリシーという原則に基づき任期付き採用。任期は当初 3 年で業務遂行状態に応じて延長が可能(原則的に総任用期間は最高 7 年)
- ・職位(grade)は仕事・責任・権限によって P-1 から P-5(課長級)、D-1、D-2(部長級)に区分。更にその上に局長としての役割を果たす事務局次長(DDG)、事務局長(Director General)と続く。

一般職 (General Service Staff)

- ・IAEA の円滑な運営のために欠かせない事務、技術、科学の各分野における支援業務が任務

コストフリー専門職 (CFE)

- ・IAEA の通常予算の下で資金を調達できない、専門的なスキルを持つスタッフを当該国の財政負担によって雇用するもの
- ・職位、職種によってタイプ A、B、C の 3 種類がある

タイプ A (CFE-A)

- 関連する実務について十分な経験がある者
- 職務と責任により P-3 から P-5 の職位が与えられる
- 期間は 1~2 年で最大 7 年間の延長が可能

タイプ B 及びタイプ C (CFE-B, CFE-C)

- 特定のタスク等を実行するために、IAEA に派遣された専門家
- タスクリストに指定された要件に沿った適切な学術資格または適切な実務経験を有する者
- 期間は 2 年で最大 3 年まで延長可能

コンサルタント及び専門家

- ・短期プロジェクトに取り組むために、専門知識を有する者を個々の契約で雇用
- ・通常、特定の IAEA プログラム活動の実施を支援

ジュニア専門職（JPO）プログラム

- ・ IAEA の活動支援を通じて、若い専門家に、国際機関内でのキャリア開発につながる機会を提供
- ・ P-1 または P-2 レベルのスタッフとして、上級スタッフの指導の下で科学、技術、または管理の何れかの分野の実務経験を積む
- ・ 期間は 1 年で最長 2 年間まで可能

インターンシッププログラム

- ・ 大学在学中、または最近卒業した者に、IAEA のプログラムに基づく実務経験を積む機会を提供
- ・ 期間は通常 3 ヶ月以上 1 年以内